



## 三角B & G 海洋センターでの水泳学習

保護者の皆様にはすでにお伝えしたとおり、7月1日（火）からB&G海洋センターでの水泳学習を開始しました。事前に職員で施設の確認も行い、子供たちが普段と違う環境でも安心して学習できるようにしました。初日に様子を見に行ってみると、普段とは違う広々としたプールで楽しそうに泳ぐ子供たちの姿がありました。また、複数の職員で指導していますが、プールには専属の見守りの方もいらっしゃいますので心強いです。子供たちに感想を聞いてみると「楽しかった！」と口々に言っていました。しっかり水に慣れ、泳力を高めてほしいです。

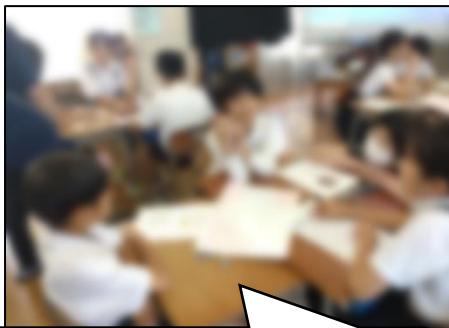
（写真左：学校にはない小プール。低学年の子供たちも伸び伸び泳げます。  
右：見えづらいますが、授業を受けている子供たちの様子です）



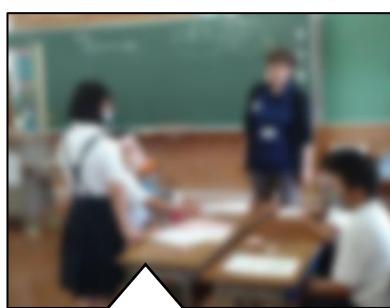
前途洋々

## 5年生が「認知症サポーター養成講座」を受講しました

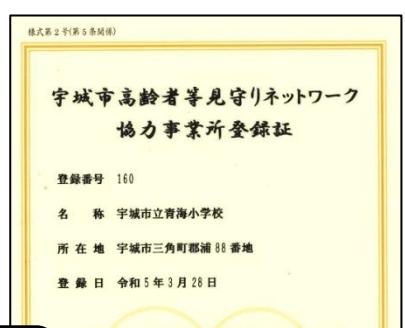
7月2日（水）の3・4時間目、毎年5年生を対象に実施している「認知症サポーター養成講座」を行いました。講師は宇城市社会福祉協議会の皆様です。来ていただいた皆様は、認知症について正しい理解を促すために、様々な学校で活動しておられます。この中で、何歳からを「高齢者」というのか子供たちに尋ねられました。正解は「65歳以上」。宇市の高齢化率は35.1%になっているそうです。また、認知症とは、「分かる力」が弱くなっていることとの説明がありました。今までできていたことができなくなる…これは老いていく中では避けられません。子供たちはこの講座を経て、「キッズサポーター」となりますが、認知症の方々と接するときの原則「おどろかせない、いそがせない、きづつけない」について考えを深めたようです。困っている方を見かけたら、「家族や近くの大人に知らせる・優しく話しかける・ゆっくりわかりやすく話す」などの行動が必要だと学んでいました。また、何度も同じ話を繰り返す、というケースもあるかもしれません、視聴した動画で、登場人物（小学生）が、「おばあちゃん、楽しそうだな。ゆっくり話を聞いてあげよう」と考える場面があり、ドキッときせられました。本当にそうですね。最後には、キッズサポーターの証であるマスコット「ロバ隊長」もいただきました。大人も考えさせられる内容でした。



サポーターとしての役割を協議



キッズサポーターとして、どのように行動するか発表しています



マスコットの「ロバ隊長」です



本校は、宇城市高齢者見守りネットワーク事業所です

最後に全員で記念写真を撮りました  
(ロバ隊長のマスコットと共に)